

*IRPC Tarachine presents*

低線量被ばくの健康被害

“科学”ではっきり言えることと、言えないこと

# 今中哲二 講演会



2012.7.14 (Sat) ★いわき市 まち・未来創造支援事業★

開場 13:00 開演 13:30 終演 16:30

会場：いわき市生涯学習プラザ 大会議室

最寄駅：JRいわき駅 / 福島県いわき市平字1-1 ティーワンビル内 ☎ 0246-37-8888

参加費：無料

主催：いわき放射能市民測定室 Tarachine

お問い合わせ：E-mail [tarachine@bz04.plala.or.jp](mailto:tarachine@bz04.plala.or.jp)

Fax 0246-92-2526

[www.iwakiskuleishifu.com](http://www.iwakiskuleishifu.com)

お誘いあわせのうえ  
お気軽にご参加ください！



IRPC Tarachine presents

低線量被ばくの健康被害

“科学”でははっきり言えることと、言えないこと

今中哲二 講演会

2012.7.14 (Sat) @いわき市生涯学習プラザ



2011年3月11日から現在まで、福島第一原発から変わらず漏れ出す放射能。私たちの心に「慣れとあきらめ」の二文字が浮かぶ事故から2度目の夏・・・後出しの汚染の情報が流れるたびに、あきらかに事故前とは違う環境の中で生きなければならないことを実感しつつ、気がかりなのは子供たちの健康への影響です。逃れることのできない低線量被ばくと、そこで生きるために何を考え、何をやるべきなのか、科学者としての観点から今中哲二先生にお話しをしていただく機会を設けることができました。これからの私たちの生き方を考えるために、ぜひ、大勢のみなさんにお越しいただけますようお待ちしております。



今中哲二 プロフィール

京都大学原子伊実験所助教 兼 京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻助教 専門は原子力工学。大学院時代より日本の原子力開発の在り方に疑問をもちはじめ、原子力を推進するためではなく、原子力利用にともなう危険を明らかにするための研究に従事している。広島・長崎原爆による中性子線量に関する評価の研究や、チェルノブイリ原発事故の過酷調査とその影響の解明、セミパラテンスク核実験現場周辺での放射能汚染の調査など行っている。2011年7月27日、国会で東京電力福島第一原子力発電所事故に関連した放射能除染の健康への影響についての意見を述べた。1950年、広島市生まれ。1973年、大阪大学工学部原子力工学科卒業。1976年、東京工業大学大学院工学研究科修士課程（原子力工学）修了。同年より現職。

いわき放射能市民測定室 たらちね

2011年3月11日、福島第一原子力発電所の事故。そして止まらない放射能漏れによる地元の土地の汚染と健康被害から、子供と地域を守るため開所された一般の人々による放射能測定室。

測定内容は、食品の放射能測定器による測定と、ホールボディカウンターによる人体の放射能測定。

測定室の愛称「たらちね」は母を意味する言葉であり、子を思う母の心をもって運営することを測定室の心とし、汚染されてしまった被ばく後のいわきの土地で生きていくための必要な情報を地域のみなさまにお知らせするべく日々、努力し活動している。



いわき放射能市民測定室 Tarachine

Iwaki Radio-Proof Centre

〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町 11-3 カネマンビル3階 Tel & Fax 0246-92-2526

www.iwakisokuteishitu.com



★駐車場のご案内★

- 1. 無料の「いわき市公共駐車場」をご利用ください。
- いわき市公共駐車場【量子野】（いわき市役所裏側）82台
- いわき市公共駐車場【橋本】（いわき市役所裏側）268台
- 2. ティーラウンビルには有料の立体駐車場が併設されています。（30台毎に90円/124台/敷金1.78万円以下）

